学校保健委員会

愛媛大学教育学部附属小学校
PTA会長　川﨑　慎一
家庭教育部

令和８年１１月１１日（水）に附属小学校多目的講義室で、給食試食会を開催いたしました。

はじめに、家庭科主任 野本先生より家庭科の授業における取り組みについてのお話を伺い、 ５・6年生の授業風景をスライドショーで紹介していただきました。

最初の調理実習では、ガスを使って水からお湯を沸かし、お茶を淹れることから始めるそうです。その後、「茹でる」→「炒める」→「煮る・炊く」の順番でステップアップしていく中で、火加減やお米が膨らんでいく様子を観察する子どもたちの真剣な表情が印象的でした。段階を踏んだ実習を通して、自立して生きるための大切な力を育んでいることが分かりました。

その後は、給食委員の子どもたちが作成した動画「給食ができるまで」を視聴しながら、和やかに試食会を行いました。多くの保護者の方が、興味深そうに動画を楽しみつつ美味しくいただきました。







【 当日の献立 】
・のっぺい汁
・豚肉のかりん揚げ
・おひたし
・白米　　・牛乳

《参加者からのご意見・ご感想》

- 瀬戸内のいりこ出汁など、子どもたちにとって「故郷の味」のひとつとなればよいなと思いました。
- 子どもが好む優しい味付けで、大変美味しくいただきました。
- 調理工程の動画や栄養教諭 市川先生のお話から、安心・安全に努めながら作ってくださっていることが分かり、感謝いたします。
- 食材の大きさや調理法や栄養バランスなど、家庭で活かしたいヒントがたくさんありました。
- 途中、お昼の放送で給食についてのアナウンスも流れ、子どもたちと一緒に給食を囲んでいるような懐かしく嬉しい気持ちになりました。

【家庭教育部より】

ご応募・ご参加いただいた保護者の皆さま、また準備にご協力くださった養護教諭 砂野先生や教職員の皆さまに感謝いたします。今後も、学校と家庭のパイプ役となれますと幸いです。